



伝統行事の「羽黒山伏松の勧進」



かみじ

社会福祉法人羽黒百寿会

第 51 号
2018. 1. 1

社会福祉法人羽黒百寿会

〒997-0211 山形県鶴岡市羽黒町手向字薬師沢198-3
特別養護老人ホームかみじ荘
指定通所介護事業所デイサービスセンターかみじ荘
指定居宅介護支援センターかみじ荘
TEL(0235)62-2233 FAX(0235)62-2089

〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字前田元89
地域包括支援センターかみじ荘
TEL(0235)64-8281 FAX(0235)64-8283

〒997-0157 山形県鶴岡市羽黒町後田字谷地田186-1
鶴岡市立貴船保育園
TEL(0235)62-2155 FAX(0235)62-2154

〒997-0157 鶴岡市羽黒町後田字下田元9番地
広瀬学童保育所
TEL(0235)62-2149

〒997-0141 鶴岡市羽黒町荒川字花沢4番地
泉学童保育所
TEL(0235)62-2102

新年おめでとうございます



地域住民のみなさまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。本年もみなさまのお力添えになれますよう、職員一同努力してまいりますので、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年がみなさまにとって素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。



社会福祉法人羽黒百寿会の地域貢献

平成28年度の社会福祉法改正の目的の一つに「地域社会に貢献する法人のあり方の徹底」があり、当法人では地域における公益的な取り組みを実施する事を努力義務として掲げています。羽黒地域におけるイベント活動や催しに積極的に参加し、地域の方々との交流・連携を図り、地域の一員として貢献していきたいと考えております。

今年度は、小さな実践からまずやってみる事が大切として、羽黒地区の駅伝大会へのチームとしての参加や、同駅伝大会の大会役員・救護班として職員・看護師の派遣、羽黒山石段マラソンの救護班として看護師の派遣を行いました。また、平成30年2月には地域の住民の皆様を対象とした介護教室もこれから予定しております。また、鶴岡市社会福祉協議会が主催となって、鶴岡市内の社会福祉法人の連携による公益的な取り組みに向けた研修会を行っており、地域課題を共有し今後の取り組みや実施体制を考える機会となっております。

羽黒地域の住民の皆様方からも、当法人の地域貢献に対するアドバイス等がございましたら、ご遠慮なく法人本部までお寄せいただければ有り難いと思います。

「山形いきいき子育て応援企業」に認定されました

山形県より、当法人を「山形いきいき子育て応援企業・実践（ゴールド）企業」として認定をして頂きました。今後も、女性の活躍推進や仕事と家庭の両立に向けたワーク・ライフ・バランスの取り組みを、一層推進してまいります。



平成30年4月 正規職員採用報告

平成30年4月職員採用試験を9月に実施しました。介護士1名、介護支援専門員1名、保育士1名を正規職員採用決定と致しました。介護士及び保育士については新規学校卒業者です。若い力を発揮して、組織内に新しい風を入れて頂きたいと思います。



羽黒地区駅伝競走大会への参加

10月8日(日)に羽黒地区駅伝競走大会が行われ、当法人からも「チームかみじ」として、5名の職員が参加させていただきました。当日は、メンバー5人が持てる力を出し切って完走し、15チーム中9位という結果で終える事が出来ました。

また当日は、当法人の看護師1名が救護班として、職員3名が大会運営補助としてお手伝いさせていただいております。



羽黒山石段マラソン 全国大会への看護師派遣

また、10月22日に行われました「第17回羽黒山石段マラソン全国大会」に、当法人の看護師1名が救護班として参加させていただきました。

今後もこの様な催しには積極的に参加し、交流を通して羽黒地域との関係を密にしていきます。

職員紹介

「マラソンマン井上」

当法人の介護支援センターかみじ荘に勤務する介護支援専門員・井上 剛が、10月29日に開催されました鶴岡市駅伝競走大会に羽黒チームの一員として出場し、第6区を完走しました。結果は、チームとして25チーム中4位と好成績を納めました。先にご紹介しました、羽黒地区駅伝競走大会でも「チームかみじ」のキャプテンとして活躍しております。中学校、高校と陸上部で活躍し、現在も時間があれば手向地区を中心に走り込んでいる、現役のマラソンマンです。



応援
よろしく
お願いします。



みんなを笑顔に

「羽黒すこやかな会」通算300回をお祝いする

丸山三喜男氏が代表を務める「羽黒すこやかな会」が平成24年から、かみじ荘への慰問活動始めて300回を迎えられました。

毎回、趣向をこらした内容で、民謡や踊りのサークル団体とペーパーフラワー等でデイサービスに週3回、入所棟に月2回の慰問で、ご入所者・ご利用者を楽しませていただいています。

羽黒百寿会では、ご入所者・ご利用者との相互親睦に貢献されたことに感謝し、感謝状を贈呈させていただきました。



デイサービスセンターかみじ荘

低負荷でできる運動機器を導入しました!

ご自宅で歩行、食事、排泄、入浴および衣類の着脱など自立した日常生活を営むために椅子に座って足先上げや踵上げ、足踏み等の集団の体操を行っています。新たに2種類の運動機器を導入し、低負荷の運動に取り組んでいます。



不在者投票しました

10月11日…鶴岡市長選挙・市議会議員選挙

10月18日…衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官

かみじ荘は「不在者投票指定管理施設」となっており、上記の選挙が施設内で行なわれました。

両日とも10～11名の入居者が各々の投票したい立候補者や党をしっかりと決めて入場し、皆さん緊張した面持ちで貴重な一票を入れていました。





介護を支える羽黒百寿会(かみじ荘) 介護教室のお知らせ

羽黒百寿会(かみじ荘)では地域の方を対象に介護教室を開催いたします。
介護に関心のある方にむけての内容になっております。多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成30年2月24日(土) 10:00~12:30

場 所：やまぶし温泉 ゆぽか

参加費：無料(昼食はかみじ荘でご用意します)

対 象：介護に関心があるすべての方

人 数：先着30名まで(先着順)

内 容：①介護保険のしくみについて

②低栄養にならないために
~いろいろ食べる、しっかり食べる~

③フリートーク

介護の質問や体験談などざっくばらんに情報交換しましょう!



〈申込み・問合せ先〉

電話にて 下記までお申込み下さい。※両センターとも平日8:30~17:15の間で連絡をお願いします。

TEL:64-8281

包括支援センターかみじ荘(長南)

TEL:62-2026

指定居宅介護支援センターかみじ荘(鈴木)

しめきり/平成30年1月24日(水)まで

これって
認知症?



認知症が疑われる症状

○食事をしたことを忘れるなどすぐ前の出来事を忘れている。何度も同じ話を繰り返し話す。買い物で同じものを何度も買ってくる

様々な事が記憶に残らなくなっています

○なんでもない事に血相を変えて怒り出すなど以前より怒りっぽくなる

わからない状態が続き、常に不安や戸惑いを感じています

○異常な食欲や食べてはいけないものを口にする

食欲中枢の機能低下で満腹感が感じにくくなることや食べられない物の認識ができなくなっています

○物盗られ妄想

否定すると増々感情的になり一切認めない

激しい思い込みで訂正できなくなっています

現代の医療では「認知症」は **治ることが難しい病気** です。

しかし、早期発見、早期対応で進行を遅らせることは十分可能です。

なるべく早い治療を開始するためには **身近にいる家族や近隣の方の気づきがポイント** となります。「これって認知症?」と気になる症状がある時は気軽にご相談ください。





初めての訪問!
ドキドキ緊張するなあ～



瑞穂の郷

貴船保育園では、羽黒地域にある3つの老人福祉施設の利用者の方と年間を通して交流させて頂いています。

施設訪問に向けては、4・5歳児が「どんなことをしたら喜んでもらえるかな?」「この歌ならおじいちゃんとおばあちゃん達も知ってるかも!」などと話し合って歌や踊りを決めたり、折り紙でプレゼントを作ったりしながら、毎回訪問の日を楽しみにしています。交流会当日は最初はドキドキ緊張していた子ども達も、歌や踊りを披露するたびに沢山の拍手と「めっこいのお」という温かな言葉をいっぱい掛けてもらい、自然と笑顔が溢れてきます。肩たたきや握手を通しておじいちゃん、おばあちゃん達の手のぬくもりを感じ、「もっと優しく肩たたきをしてあげた方がいいのかなあ…」“喜んでくれてるかな～」と親しみの気持ちを持ち、相手を思いやる気持ちも育まれているように感じています。

施設訪問の他にも、保育園に来園してくれたかみじ荘のおじいちゃん、おばあちゃん達との交流では、2・3歳児も歌や踊りを踊ったり、0・1歳児もタッチやバイバイをさせてもらって、みんな笑顔いっぱいです。



トントン肩たたき
気持ちいいかな～?

かみじ荘



カッコよくきまった
ソーラン節

みずばしょう

いきいき百歳体操



高齢者が住み慣れた地域で生活していくために、足腰が動くうちから介護予防に取り組む必要があります。そこで、地域包括支援センターでは、鶴岡市長寿介護課や羽黒庁舎市民福祉課、鶴岡市社会福祉協議会と連携し平成28年度より羽黒地域での「いきいき百歳体操」の普及を目指しております。

平成29年8月30日には、区長、民生委員、百歳体操を実施しているお世話役等の方々と、鶴岡市長寿介護課 碓氷ひろ子さんを講師に招き、「地域づくりは介護予防につながる」「百歳体操の取り組みとその効果」について講演していただきました。また、実際に取り組んでいる団体の代表者から、地区の特色ある実施状況を発表していただきました。羽黒地域では7つの地区や集落で行われ、活発に介護予防に取り組んでいます。

◎「いきいき百歳体操」とは、椅子に腰をかけた状態でゆっくり行う筋力体操でDVDを見ながら約40分～1時間かけて行う体操です。



※詳しくは、地域包括支援センターかみじ荘 ☎64-8281までお問い合わせ下さい。